身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛するの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛するの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛するを読んだことのある10代～50代の男女52名
調査期間	2025年7月22日～2025年7月23日 2025年7月25日 2025年8月8日 2025年8月29日 2025年9月12日 2025年9月26日 2025年10月10日 2025年10月31日 2025年11月14日 2025年11月28日 2025年12月12日 2025年12月26日 2026年1月9日 2026年1月30日 2026年2月13日 2026年2月27日 2026年3月13日 2026年3月25日 2026年4月8日 2026年4月27日 2026年5月13日 2026年5月27日 2026年6月10日 2026年6月24日 2026年7月8日 2026年7月29日 2026年8月12日 2026年8月26日 2026年9月9日 2026年9月30日 2026年10月14日 2026年10月28日
調査方法	インターネット調査

モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/migawarikonnosyohousen/

■アンケート項目

Q1:年代と性別を教えて下さい。
Q2:身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛するを実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1:年代と性別を教えて下さい。

10代男性	1人
10代女性	0人
20代男性	1人
20代女性	0人
30代男性	31人
30代女性	0人
40代男性	14人
40代女性	3人
50代男性	1人
50代女性	0人

Q2:身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛するの感想を教えて下さい。

『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』1話～5話	朱弥子さんの扱いが酷すぎました。部屋を与えられているとはいっても牢獄よりひどいように感じるレベルでしたし、あそこで一日中ずっといるのは酷いですね。そしてその酷さをより感じたのは嫁いでから。身体確認の為に服を脱がされたわけですけど、そのシルエットから貧相というかまともなものを食べさせてもらえていなかったというのは十分わかりました。幸いちえさんとかは常識人のようですし、幸せになって欲しいなって感じました。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』1話～5話	とにかくこの物語のヒロイン朱弥子に心奪われますね。両親を亡くして叔父の家に引き取られてしまうのですが、そこでの劣悪な立場が本当にかわいそうです。珠子というその家の娘に日々いじめられる毎日なのですが、それでも直向きに生きようとしている朱弥子が本当に魅力的ですね、珠子の言動がいちいちかんに触る感じなのですが、その姿を見る事でより朱弥子への好感度が増大します。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』1話～5	両親の死をきっかけとしてお嬢様だったヒロインが使用人扱いされるようになるという展開はまさにシンデレラのようで、似たような境遇のヒロインが登場するマンガも読んだこともありますが、人目にふれないよう狭い場所に閉じ込めたり、ろくに食事を与えてもらえないために発育が悪く、「月のもの」に関する知識さえない朱弥子は他に類を見ないほど可哀想すぎる境遇で、思わずウ

話	ルッときてしまいました。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』6話～10話	朱弥子の辛さがしみじみと伝わってくるような場面が多くて、読んでて胸を締め付けられる思いになりました。その一方で日出鶴の優しい一面が朱弥子に対して向けられたり、希望を感じられるシーンもちゃんと含まれているのが良かったです。さらに物語が進んでいくと、朱弥子と日出鶴の関係性に予想外の進展があったりと良い意味でドキドキさせられました。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』6話～10話	朱弥子の体を心配して使用人であるちえさんが栄養満点な料理を作ってくれる姿になんだか心が締め付けられますね。こんなにも優しい人が朱弥子の近くにいてくれて感謝でしかありません。ちえさんの料理を食べて元気を出そうとする朱弥子の姿も非常に可愛いですし物語にどんどん厚みのようなものが生まれているように思います。取り分けキャラの深掘りがすごいです。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』6話～10話	朱弥子と日出鶴が2人で庭を散歩している姿にかなりほっこりできますね。まだそこまで親密になっていない2人が手探りでぎこちなく歩いている姿にドキドキしましたね。この展開を作ってくれたのは、ちえさんなので本当に彼女には頭が上がりません。それくらい色々と取り計らってくれるので、ちえさんの存在はこの作品の中ではめちゃくちゃ偉大です。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』11話～15話	日出鶴との関係がどんどん深まっていく朱弥子に対して、珠子の嫉妬の念が渦巻いているのを感じるので、この三人の関係性がどうなっていくのかドキドキしました。物語が進むにつれて珠子の行動が過激になっていくので、それくらい日出鶴に対して執着しているのがわかります。そんな珠子に負けず、朱弥子には幸せを掴みとってほしいです。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』11話～15話	日出鶴と朱弥子の関係が段々と親密さを増しているのを作画からひしひしと感じられます。作中、使用人であるちえさんの計らいによって日出鶴と朱弥子が買い物に出かける場面がなんだかすごくいいですね。夫婦という印象を強く抱かせてくれる描写に、ほっこりとした感情を抱きました。朱弥子の表情が喜びに満ちているのが伝わりとても嬉しかったです。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』11話～15話	彦次郎はともかく、かけおちしたなら珠子はもう朱弥子に関わってこないだろうと安心していたのですが、まさか街中で日出鶴と一緒にいるところを見られたうえ、あっさりかけおち相手をこっぴどく捨てて日出鶴に乗り換えようとするとは、あまりの身勝手さにびっくりしてしまいました。そこからの珠子は心根の醜さが見事に表情に反映されていて、笑ってしまうレベルの顔芸なので、ぜひ注目して見てほしいと思いました。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』16話～20話	すごく物語が複雑に展開していくので、そこが非常に面白いです。作中、日出鶴の過去を知ってしまった朱弥子がすごく落ち込んでいる姿にとてつもない可愛らしさがありました。彼女の繊細な性格がとてもよく現れていると思います。落ち込む朱弥子に優しく接する日出鶴の配慮の部分もかなり魅力的で2人の愛情という想いが交錯しているのを強く感じられます。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』16話～20話	本当に珠子の存在は厄介ですね。自分の代わりに日出鶴と夫婦になったという朱弥子のことが気に入らない感じで周りに嘘を撒き散らす場面は必見です。彼女の性格の悪さがとてもよく表れていたかと思います。でもそんな嘘を吐かれても、ちえが毅然とした態度をとっていたのでその部分は格好良かったですね。完全に珠子の嫉妬心が招いた出来事なのでより珠子が哀れに見えてきます。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』16話～20話	朱弥子と日出鶴様は読者視点から見ればあきらかに惹かれ合っているのに、珠子さんやちえさんから聞いた話の影響で朱弥子が思い詰めているのに加えて、日出鶴様が素直な言葉を口にするタイプではないせいで、気持ちがすれ違ってしまっている状態が非常にもどかしいです。朱弥子の亡き両親のスパイ容疑は冤罪の可能性が高いと思うので、2人の明るい未来のためにもはやく真実が判明してほしいです。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は	日出鶴と朱弥子の関係性がやっぱり見ていて少しもどかしいですね。恋愛にすごく疎いというか、なかなかお互いの気持ちを真正面から伝え合わないので早く愛し合ってほしいという気持ちが高

孤独な花嫁を溺愛する』21話～25話	まります。でもそこがまたこの作品の面白いところで、周りのキャラたちが色々と2人のために尽力してくれたりしてくれるのでそこが凄く魅力的です。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』21話～25話	朱弥子の想いがとても色濃く感じられてすごく面白いです。やっぱり彼女の心情の変化の描き方が、めちゃくちゃ気になる感じで俄然目が離せませんね。日出鶴との関係に悩んだり自分の身の上のことで悩んだりと色々と朱弥子には悩みが尽きないので、その部分に注目するとより彼女に感情移入できますね。もっと正直になってほしいものです。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』26話～30話	物語が進むに従い朱弥子の本当の両親のことがより気になっていますね。本当にスパイ活動なんてしていたのでしょうか。その辺の背景がより気になってくる感じなので俄然目が離せません。一方、珠子がとにかく厄介で朱弥子と日出鶴を引き離そうと躍起になっているのが本当に嫌です。正直2人にとって邪魔でしかないですが彼女がいることで物語が面白くなっていることも確かです。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』26話～30話	朱弥子がなかなか日出鶴に心を開けないところに少しのもどかしさがありました。絶対に今抱えていることを全て話したとしても日出鶴は受け止めてくれると思います。それだけ器のでかいキャラですから大丈夫でしょう。早く朱弥子が素直になってくれることを切に願います。物語の中心が両親の真実にフォーカスしている感じがするので早く恋愛要素も見たいですね。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』26話～30話	朱弥子の本当の両親の正体がなんなのか凄く気になってきますね。その真実に辿り着いた感がある使用人ちえさんの有能さがとても面白いです。物語の中にいろいろな伏線が張り巡らされているので、その点もこの作品が人気な理由だと思います。ただの恋愛漫画に終わらない要素がとても多いのでより深く楽しめています。よって朱弥子の内面にもかなり興味が湧きますね。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』31話～32話	本当にこの作品は一つのエピソードがあっという間に終わってしまいます。なのでキャラのセリフをじっくりと読んでしまうのですがその都度、日出鶴の色気の爆発具合にときめきますね。朱弥子との関係もより親密さを増していて見ていてとてもニヤニヤしてしまいました。抱擁シーンでの日出鶴の男らしさの部分にかなりときめきがありますね。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』31話～32話	なんだか朱弥子と日出鶴の幸せな未来を強く感じられましたね。キャラクターたちの背景が結構入り組んでいますが、その全てがスッキリした時に2人が本当の愛に気づいてハッピーエンドを迎える気がしますね。叔父さんを取り巻く色んな闇の部分など気になることは多いですがこの先の展開にかなり期待したいです。やはり日出鶴の優しさに毎回ときめきます。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』31話～32話	2人の愛情を作画から肌で感じることができました。2人が体を引き寄せ抱き合っている場面は本当に魅力的ですね。ドキドキが読み手のこちら側に強く伝わるようで本当に良かったです。作中、日出鶴の真摯な想いがとても良くて朱弥子に心から寄り添っている感じもあって俄然目が離せません。このまま2人がいい関係のまま関係を継続してほしいと強く思います。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』32話～34話	こんなにも心が通じ合っているのに、朱弥子は自分の親にかかったスパイ疑惑のせいで、まだ家をでていこうとしています。早く二人の正体が判明して、もっと信頼し合える仲になればいいのに。以前、ちえさんが何か見つけていましたが、帰ってから一気に話が進むことを期待します。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』36話	とうとう朱弥子の正体を知ることができましたが、まだ疑っているようです。なにせ日出鶴は5年前に初恋相手が亡くなったと聞かされていましたから。しかも子供の頃に調べたことなので、なおさら信用ができません。さっさと話せばいいのにと、もどかしい気持ちにさせられました。

『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』37話～38話	もどかしいです！いつまで本人に話さないのか、それが謎です。日出鶴のなかではすでに答えがでていそうなのに、なぜ本人に言わないのか。そして朱弥子も、過去の話をする相手が違います。日出鶴に話せばいいのになぜちえさんに話すのか。ちえさんはできる女性ですし、ちゃちゃっと二人の架け橋になってほしいところです。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』39話～40話	真面目だったり、焦らされる話が続く中で、ちえさんが唯一の癒やしです。もうちえさんから言ってしまえばいいのにとも思いますが、黙っていることでより二人のためになるならやむなしですね。かなり焦らされているので、そろそろ気づいてもいいんじゃないですか？
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』41話～42話	話がなかなか進まないですね。1話も短いので、話の展開ははやくしてほしいところです。ちえがいなかったら、一生お互いの気持に気づかないのではないでしょうか。いい大人が、純粋すぎるにもほどがある。まぁそれがいいところでもあるんですが。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』43話～44話	相変わらずのクズ女ですが、顔芸は本当に面白いです。醜悪な女の顔そのもので、それを隠していないことが逆に好感を持ててきました。きっと女中は相手にしないでしょうし、どんどん孤立していきそう。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』46話	話が遅いのは気になるけど、やっぱりちえさんは面白いです。朱弥子が夜の営みを知らないのは、ちょっと無理があるなと思いましたけど、それに対するちえさんの反応が良かった。ちえさんがいろんな知識を朱弥子に教えるのかな。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』47話～48話	ちょっとだけ二人の距離が近づいたかな？これもちえさんのおかげかもしれませんね。あまりにも朱弥子がうぶすぎますが、そろそろ急展開があってもいいんじゃないでしょうか。確かにあんな暮らしをしてこれば人を好きになるなんて始めての経験でしょうが、それにしても子供じゃないんだから。日出鶴ももっと一気に詰めていけばいいのに。
『身代わり婚の処方箋～製薬王は孤独な花嫁を溺愛する』49話～50話	やっと話が進んだ感じがします。朱弥子に関連する人物とのことですが、おそらく朱弥子に昔使えていた女中でしょうか。これは51話が楽しみです。
『身代わり婚の処方箋』51話～52話	恋愛漫画ではなく、ギャグ漫画なのではないかと思うほど、依子が空回りしていて面白かったです。そんな依子に対する、佐竹とちえさんの反応もこれまた面白い。確かに佐竹は飄々としていて胡散臭さはあります。依子の踊りに対しての冷静な対応が笑えます。ちえの意地悪そうな顔は、間違いなく、日出鶴と朱弥子の事実がとうとう本人たちに伝わることが嬉しいからでしょう。ようやく次で、二人の関係がはっきりと判明しそうですね。
『身代わり婚の処方箋』53話～54話	朱弥子が日野彩本人であることがわかってこんなにあっさりしているものでしょうか？これでお互いに初恋の相手だとわかったということですよね？先にスパイ容疑についてまとめてから甘い雰囲気になるのでしょうか。ようやく二人がお互いのことに気づきそうでワクワクします。
『身代わり婚の処方箋』56話	今回はあまり話が進みませんでした。それは残念ではあるのですが、いつも通りちえが心のなかで大暴れしていて面白かったです。それだけでも面白くて楽しめるのですが、もう少しだけ話のスピードを早くしてほしいですね。1話丸々ちえ劇場はちょっとテンポが悪いです。
『身代わり婚の処方箋』57話～58	依子とちえ、日出鶴と朱弥子、どっちも面白かったです。特に日出鶴のテンションが上がるところは、本当に意外でした。アレほど喜んでくれたら嬉しいですが、ちょっと怖いでしょうね。そして、と

話	うとうあれを聞くことになりそうですが、また何らかの邪魔が入るかも。ただ、もう58話ですし、そろそろ二人の関係が進んでもいいのではとは思います。
『身代わり婿の処方箋』59話～60話	とうとう、とうとう二人がようやくお互いを初恋の相手だと気づくことができました。日出鶴が思い悩んでいたところを見て、また引き伸ばしかなーと思っていたのですが、まさか犬のぬいぐるみをきっかけにするとは。そこも驚きです。確かに、両親の潔白は証明できていないものの、これはかなり大きな進歩ですね。あとは、有能な佐竹の報告を待つだけ。久しぶりに珠子がでてきましたが、ザマァ展開になりそう。
『身代わり婿の処方箋』61話～62話	61話と62話は、ラブコメのようなキラキラした物語でした。裏では、日出鶴や佐竹が、朱弥子の家系について調べていますので、そろそろ本格的に物語が動き出しそうです。日出鶴がキャラメル色の男の子だったことも判明しましたし、話数もすでに62話です。相変わらずちえが面白いですが、そろそろ真面目な話になっていきそうな予感がします。
『身代わり婿の処方箋』63話～64話	ずっとキャラメルの紙くずを持っていたなんて、日出鶴からしたら相当感動的というか、嬉しい出来事でしょうね。しかも、それを宝物として大事に持っていたなんて、ロマンチックすぎます。あと1週間で朱弥子の問題も解決できそうですし、心の底から二人が愛し合えるシーンが楽しみですね。
『身代わり婿の処方箋』65話～66話	この数話でかなり話が進みましたね。真実が明るみに出るだけでなく、珠子の父が逮捕される事態になるとは。先に、真実が判明すると思っていたので、この展開は驚きです。66話の最後には、朱弥子の父親が関与していたと言われていましたが、きっとそれも捏造された事実のはずです。本当は何があったのか、早く続きが読みたくなりました。
『身代わり婿の処方箋』67話～68話	一気に朱弥子の両親の話、朱弥子の叔父の話が描かれて、ほとんどの物語の謎が判明しましたね。しかも、朱弥子の叔父はすでに捕まっているという。あとは、珠子くらいじゃないでしょうか。珠子も実の父に始末されている可能性も高いので、もう出てくることはないかもしれませんね。まぁ珠子ならしぶとく生き残っていそうですが。
『身代わり婿の処方箋』69話～70話	今回はほっこり回でしたね。朱弥子も気持ちの整理がついてきて、周りも落ち着いてきましたから、ようやく二人でゆっくりできるといったところでしょうか。とはいえ、最後に出てきた珠子が気になります。また一波乱起きそうですが、今や珠子は追われる身ですし、朱弥子は日出鶴たちが守っています。他の漫画では悪女に好き放題される展開もありますが、ちえさんがいる限り、この漫画ではそのようなことは起きないでしょう。珠子がどんな末路を迎えるのかが楽しみです。
『身代わり婿の処方箋』71話～72話	珠子がどんどん地に落ちていく展開はスカッとしますね。あの変顔は愛着が湧いてくるほどですし、なかなかいいキャラになってくれました。ただ、そろそろ朱弥子の元に現れそうなんですよね。朱弥子は、珠子のことを許してそうですが、周りはそうではないでしょう。祝言のときに現れたりすると面白そうです。
『身代わり婿の処方箋』73話～75話	洗脳って怖いですね。あれほど仲の良かった二人が、これほど歪んだ関係になってしまうなんて。確かに、父親がすべての元凶ではあるのですが、父親が洗脳をしていなかったとしても、珠子はいずれ朱弥子に嫉妬していそうなんですよね。父親に洗脳されていなかった場合の、二人の関係性も見てみたいかも。
『身代わり婿の処方箋』76話	朱弥子だけじゃなくて、日出鶴も楽しそうにしていて、二人共幸せそうにしていてほっこりしました。たまにはこんな話が続いてもいいですね。とはいえ、このあと、珠子が何かをしようとしているでしょうし、それがいつ来るのかが気になるところです。これだけ幸せなシーンが続いたら次あたりで珠子が再登場しそうです。そこで、何をしてくるのかが楽しみです。
『身代わり婿の処方箋』77話～78話	無能な社員が勘違いしてしまうという最悪のタイミングです。珠子は見た目だけはいいですから、これで変な方向に展開が進まなければいいんですけど。まぁ珠子は何も考えていなかったようですし、珠子にとっては最高のタイミングと言えるのでしょうか。とはいえ、こんな派手な女性一人を社内に入れてしまうとか、どれだけ不用心なのか。さっさと日出鶴と朱弥子が来て、珠子を地に堕としてほしいところです。それで祝言挙げてハッピーエンドくらいで良いのでは？
『身代わり婿の処方箋』79話～80	珠子が何かをしでかしそうな、そんな嫌な展開になってきましたね。今更同情する余地なんて無いんですが、朱弥子は同情してしまうような気がします。ただ、ここで佐竹が一仕事してくれそうな

話	気がします。
『身代わり婚の処方箋』81話～82話	珠子を招き入れて、また嫌な展開が続きそうだなーって思ったんですが、よく考えると、珠子を追い出すだけではスカッと感が足りないですよね。そう考えると、珠子を家に招いてさらに陥れようとするのは良い展開なのかもしれません。あと、朱弥子はまた甘いことを言っていましたが、珠子の発言で暗い表情をしているシーンが気になりました。朱弥子のことなので、本当に珠子に同情はしているのでしょうが、珠子を許せないという気持ちはあるのかもしれません。この朱弥子の優しさと暗い感情がこの先の展開にどう関わってくるのかが楽しみですね。
『身代わり婚の処方箋』83話～85話	しばらく珠子の話が描かれていますけど、全部バレてしまいましたし、そろそろ物語から退場でしょうか。盗んだものを元に戻して、そのまま去っていくなら、それでも良さそうですね。ただ、嫉妬に狂っていて行き場のない珠子がそんな簡単に退場するとは思えないので、佐竹さんがどう動くのか楽しみですね。
『身代わり婚の処方箋』86話	ようやく珠子関連の話が終わるのかと思いきや、まだまだ続きそうで少しうんざりしています。そもそも全員簡単に騙されすぎです。まぁ朱弥子が優しすぎるからなのでしょうが、それにしても簡単に受け入れすぎじゃないですか？珠子の性根が変わるとは思いませんし、さっさと退場していただきたいところですね。
『身代わり婚の処方箋』87話～88話	87話まで話が進んでようやく、彩という名前を取り戻せましたね。正直かなり感動できましたし、彩の反応も無茶苦茶良かったですね。日出鶴に何度も彩と呼ばせているところを見る限り、本当に嬉しいんだろうなー。確かに、本名を奪われて、体が痩せ細るようなひどい仕打ちを受けてきて、悔しくないはずはないでしょう。ここからはずっと幸せな展開であってほしいし、珠子にはさっさと出ていってほしいところ。
『身代わり婚の処方箋』89話～90話	ずっと珠子に好き放題されてきて、もう少し言い返してもいいんじゃないかって思っていたんですけど、とうとう彩がやってくれましたね。日出鶴との思い出を踏み荒らされたくないから、という理由が着いているのが良かった。ただ、成長したからというより、日出鶴への想いがあるから言い返せたっていうのがエモい。珠子にはさっさと退場してほしいと思っていましたが、彩のこういう成長が見れるなら、いい引き立て役だと我慢できそう。
『身代わり婚の処方箋』91話～92話	昔に比べて本当に頼もしくなったね。もともと彩は外国語が話せるし、貴賓の対応ができるほど優秀なんですよね。ただ、ずっと日出鶴に惚れていてあたふたしてるイメージが強かっただけで。今回、実際に晩餐会でいろんな人と会うことで、より彩の良さというか、魅力がわかった話だったなと思いました。
『身代わり婚の処方箋』93話～94話	あんまり話が進まなかったけど、平和だったのでまぁ良かったかな。珠子が変なことをしなくてよかった。それにしても、ここ最近、どんどん話数が少なくなっているように思えます。めちゃコミ作品って、たまに1話ごとのページ数が減っていく漫画がありますが、『身代わり婚の処方箋』はそうなってほしくないですね。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス